



広報

あくね

第426号

夏本番

一斉に海開き



王子キングと脚の太腿、顔みさつた青い空、阿久根にも夏が訪れ、市内の大山島、阪本、入島の海水浴場が二百にオリーブ、賑わいを際立てています。

野生ツバの任地島として知られる阿久根大島の海開きは五月二日行われました。今年も陸羽島大学に留学している外国人二十人も招待して、ひつまみ、賑やかな海開きとなり、南國交通の方野田さんや市役所の若者たちも加わり、初級海で一斉に水しぶきをあげ初泳ぎを楽しみました。

砂浜にはシカも現われて、カイドさんとたわむれ、本格的な夏の到来を告げていました。(写真：阿久根大島の海開き風景)

7月号

緑あふれる住みよいまちに

新 阿久根市総合開発計画を定める

北薩の中心都市へ

子供からお年寄りまで、緑あふれる住みよい、魅力あるまちをつくらう——
 阿久根市では、このほど昭和五十六年度から六十五年度までの十年間の発展計画をまとめた「新阿久根市総合開発計画」を発表しました。
 新しい総合開発計画は、「陸と海の調和のとれた活力ある都市」づくりを目指して、産業の振興、環境の整備、福祉の充実、教育の振興など、阿久根市の今後のビジョンを明らかにしたものです。その内容について紹介します。



阿久根市の将来構想図

阿久根市は、昭和五十一年に昭和六十年度を目標とする「阿久根市総合開発計画」を定め、この計画に基づいて市政を進めてきました。しかし、石油危機をきっかけにした世界状況、それに伴う国や県の施策の変化などによって、当初の総合開発計画とは大幅にズレが生じ、このさい計画を全面的に練りなおす必要がでてきたものです。

今回決まった総合開発計画は、「陸と海の調和のとれた活力ある都市」づくりを市政の基本とし、この基本目標に沿って将来の目標とその実現のための諸施策を明らかにしており、計画は「基本構想」「基本計画」「実施計画」により構成されています。

まず、基本構想は、今後十年に阿久根市が到達すべき目標を決めたもので、「阿久根市の将来像」「土地利用」「基本的施策」の三つからなっています。
 このなかで、阿久根市の将来像としては、「豊かな活力ある産業都市」「明るく住みよい福祉都市」「知性と健康に満ちた教育文化都市」「太陽と緑につつまれた魅力

ある観光都市」づくりを目指し、現在の人口三万人を企業誘致や地場産業の育成、観光レクリエーション施設の整備など施策によって六十五年には三万三千人の人口を推定しています。

基本的施策のなかでは、交通網の整備や水利用の合理化、恵まれた自然条件を生かした農業、林業、水産業、工業、商業の振興、福祉の充実や住みよいまちづくりのため公共下水道、生活道路の整備、教育環境の整備充実とレクリエーション施設の建設などをかけ、「緑あふれる活力ある住みよいまちづくり」を進めることにしています。

これらの施策に基づき、基本計画では、各方面で現状と問題点をとらえながら基本方針をまとめています。
 各項目ごとの主な基本方針は次のとおりです。

土地利用と河川の整備

潟地区の区画整理 事業も促進

地域開発と自然環境保全の両面から効率ある土地利用を推進し、合理的、計画的な土地利用をはかる。郷見地区区画整理の完成と、潟地区の区画整理の促進をはかります。また、自然公園や自然環境にすぐれた地区を公園やいこいの



場所として利用します。

高松川の整備と、折口川のたん水防除事業の早期完成をはかり、ほかの二級河川、準用河川についても改修整備を促進していきます。

交通、通信体系の整備

国道三号の拡幅改良をすすめ、九州縦貫自動車道、南九州西回り自動車道の開設を促進します。

鹿児島空港への最短幹線道路として県道阿久根東郷線の早期完成を目指し、中央線、国道389号とを結び、ことにより重要路線としての整備、促進につとめるほか、

海上交通の拠点として長崎県野母崎とのフェリーの就航実現に向けて努力します。

有線放送については、設備を改善し、合理的な運営を進めていきます。

豊かな活力ある農業都市

農業については土地基盤の整備生産性の高い作物の選定、農用地の高度利用の積極的活用、また、経営の合理化などによる生産性の向上をはかります。

林業については、新林業構造改善事業をはじめ、諸施策により林

道などの整備をはかるほか、下刈除間伐などを進め品質の向上と生産力の向上をはかります。

水産業では、第七次漁港整備計画を推進し、市内漁港の整備をはかるとともに養殖試験と種苗化の研究をすすめる資源を培養するため栽培センターの建設を推進します。

また、人工礁の設置も引き続き行い漁家の所得向上につとめます。工業については、各業種別に団地化、協業化をはかり、設備技術の近代化を促進していくほか、既存の地場産業や誘致企業の育成、振興をはかりながら公害のない企

業誘致にも積極的の努力します。商業では、楽しい買物ができるよう協同店舗などの設置やアーケード街の建設を促進します。

明るく住みよい福祉都市

遠見ヶ岡に 総合公園を建設

お年寄りや身体障害者、母子、父子家庭などの、生きがいづくりに年金制度の充実や各種制度の積極的な活用を図っていきます。

市街地の区画整理によりバランスのとれた街づくりを進めるほか、住宅難の解消に住宅の建設をはか

ります。スポーツ、レクリエーションの場として総合グラウンド一帯に運動公園を、遠見ヶ岡に総合公園を建設します。また、保健センター、働く婦人の家を活用し市民の健康づくりを進めます。上水道は普及率九八%に伸びましたが、まだ未給水地区があるので、この地区の解消をはかるとともに簡易水道についても技術的、経済的に指導をしていきます。

消防については、化学消防車、はしご車などの機動力の強化につとめます。

水族館など特色ある 観光地づくりを

知性と健康に満ちた 教育文化都市

木造校舎の解消を進めるとともに、プール未設置校の解消に努めます。

社会教育では地区公民館の建設や、社会教育団体の育成、充実をはかります。また、図書館の整備、青年の家、郷土資料館、大型体育館の建設を促進します。

太陽と緑につつまれた 魅力ある観光都市

観光ルートの整備を進め、阿久

根の個性を生かし、北蔵観光の中心地としての位置づけをはかっていきます。そのために大島周辺の施設の充実、海洋水族館の建設、天草・阿久根を結ぶ「阿久根コバルトライン」の設置など、特色ある観光地づくりを進めます。

計画を進めるために、計画を進めていくために市民と市が一体となり、市民総参加による理想都市づくりを進めます。また、国や県の協力をあおぎながら、緑あふれる、住みよい魅力あるまちの実現をはかっていきます。



ポンタンに袋掛けする農家の方々

ポンタン10万個に袋掛け

見ばえの良い品で 消費拡大に期待

形がよく、見栄えの良いポンタンを生産し消費拡大を図ろうと、阿久根市が今年から新しい試みとして実施するポンタンの袋掛けが六月二十五日から尾崎・弓木野など十八地区で行われました。

現在は山手地区の尾崎・弓木野を中心に百七十台栽培されており、生産量は約一千八百、二億九千万円の生産額で、このうち七〇%が青果用、三十%が加工用として、主に東京・大阪の市場に出荷されています。

しかし、最近ポンタンを含めた樹きつ類については、露地の動きが激しく、これらに合わせた生産が行われていたが、それほど消費が伸びていないのが現状で、ポンタンにしても病害虫に強い品種の改良がされておらず、当面の対策として、ポンタンの袋掛けを実施し、外観と味のよいポンタンを生産して消費の拡大を図ろうとするものです。



五人でエノキ茸生産組合 年間百六十万個出荷めざす

袋掛け作業は尾崎地区の二十五日を初めに弓木野、長野、大川の牛之浜、表川内などで七月十日まで、市、阿久根市農協の指導で行われました。

袋掛け作業は尾崎地区の二十五日を初めに弓木野、長野、大川の牛之浜、表川内などで七月十日まで、市、阿久根市農協の指導で行われました。

入札結果を公表

7月1日から実施中

阿久根市では市が発注する土木建築工事の入札の結果について、この七月一日から公表しています。公表の内容については次のとおりです。

- 入札結果 工事名、工事場所、入札年月日、入札業者、入札価格、落札業者
- 公表対象額 五十万円以上の土木建築工事

○公表の方法 閲覧方式（電話での公表はしません）

○公表の期日 七月一日以降分について公表

- 業者指名数
- 三百万円未満 三人以上
- 三百万円以上 五人以上
- 二千万円以上 六人以上
- 一億円以上 八人以上

農事組合法人鶴川内エノキ茸生産組合（今村一郎代表者）が市内鶴川内堂満山に建設を進めていたエノキ茸工場が完成。六月十五日新幹部役ら関係者四十八人が出席して現地落成式が行われました。

このエノキ茸工場は、今村一郎さんら五人が農事組合を結成し、第二次農業構造改善事業鶴川内地区の一環として今年一月から総事業費一億二千五百万円（五〇%国庫補助）で建設していたものです。

山林を造成した敷地内には管理棟や五つの栽培棟が建てられ、近代的施設の整った工場内でエノキ茸が生産されています。

今村さんら五人は「当面年間百六十万個のエノキ茸の生産をめざしたい」と意欲をもちやっています。

50^{アル}以上の 土地取引には 「土地取引の届出」 が必要

国土利用計画法により、一定面積以上の土地の取引をしようとするときは、あらかじめ知事に届出なければなりません。

届出に必要な土地の取引

○一定面積以上の土地について、**A**、**B**

A 都市計画区域……五〇〇〇㎡以上
これ以外の区域……一〇〇〇〇㎡以上

B 売買、共有持分の譲渡、営業譲渡
譲渡担保、代物弁済、交換など



図B
甲 〇 〇 〇
乙 〇 〇 〇
丙 〇 〇 〇
丁 〇 〇 〇

甲→乙→丙→丁 > 一定面積

ごそんじですか 電源立地促進対策事業

道路整備、学校施設づくりなどに役立っています

電気を各家庭や工場、事業所などに安定して供給することはとても大切なことです。

この電源立地促進対策事業は、発電所施設の周辺の地域の整備を進めることによって、地域住民の



山下小ブール



山下・弓木野線



昭本地区公民館

昭和五十三年度から昭和五十六年度までにこの事業で行われたものは二十七を数え、主なものは市道山下・弓木野線の舗装、大川地区公民館、戸柱アスレチック村、山下小ブール、昭本地区公民館、保健センター・働く婦人の家の建設などがあります。今年も数多くの事業が予定されています。

昭和三十七年度から昭和五十六年度までにこの事業で行われたものは二十七を数え、主なものは市道山下・弓木野線の舗装、大川地区公民館、戸柱アスレチック村、山下小ブール、昭本地区公民館、保健センター・働く婦人の家の建設などがあります。今年も数多くの事業が予定されています。

お買物は市内の商店街で

中元大売出し

○期間 7月20日より
8月13日まで

○賞品 特等20万円ほか四等まで

○抽せん日 8月21日

○抽せん会場 市民会館ホール

※三枚に一枚は必ず当たります。

夏祭り……八月二日・三日

二日 市内小高生による音楽パレード
ハンヤ節大行進(国道三号線)
市青協による前夜祭
(MBCラジオ歌合戦公開録音ほか)

三日 山車おどり
郷土芸能(山田桑、神おどりなど)
花火大会(新港)

依然減らない少年非行

低年齢化が一層進む

いよいよ夏休みがやってきます。子供たちにとっては楽しい季節。心がウキウキ、気持が開放的になり、ややもすれば生活のリズムが乱れるこの時期、毎年この季節には青少年による犯罪や非行が目立って多くなります。

阿久根警察署でこのほど、昭和五十六年度管内における犯罪の概要が明らかになりました。

青少年の非行について考えて見たいと思います。

少年非行の現状

昨年（昭和五十六年）刑法犯などの罪を犯したため検挙補導された青少年の数は五十七人で、ほぼ前年と同数になっています。

非行種別では窃盗（ぬすみ）が四十九人と大半を占し、シンナー乱用が二人から七人と増加したのが特徴です。

非行少年の学職別では、四十四人が小中高校生で全体の七七％。このうち中学生が二十四人で残り有無職青年の十三人となっています。

一方、不良行為で補導された少年は年々増加し、三百六十七人が補導されました。この数は前年に

比べ二十一人の増加です。しかし、小中高校生による不良行為は大幅に減少の傾向にあり、喜ばしいこととです。

その反面、有職者、無職者少年による不良行為は相変わらず増加しており、百六十二人も補導され、これら少年の指導のあり方を考える必要があると思います。

不良行為で多いのは、喫煙（タバコ）、夜遊び、不良交友、不純異性交友など、とくに女子による不良行為が年々増加の傾向にあります。

また、昨年（昭和五十六年）全国で刑法犯で検挙補導された少年の数は、十八万四千九百二人と戦後最高を記録し、十四歳が全体の二十五・六％を占めています。

毎月第三土曜日

「青少年育成の日」

県では毎月第三土曜日を「青少年育成の日」として定め、本県の青少年が心身ともに健康で明るくたくましく成長するよう運動を推進していくことにしました。

活動の内容は、朝読み夕読みなどの健全育成と、万引きやシンナ

少年非行の特徴 遊び方非行が増加

それではどのような非行が多いのか、全国的な例で、最近の少年非行の特徴をみてみましょう。

▽中学生を中心とした校内暴力が増えている。

▽シンナーや覚せい剤など薬物を乱用する少年が増加している。

▽売春や不純な性行為など、性非行で補導される女子少年が増えている。

▽非行に走る家出少年が急増し、最近では女子が男子を上回っている。

▽万引きや自転車・オートバイなどの「遊び型非行」が増加している。

これらに共通しているのは、い

わゆるせつぱ詰まった犯罪ではなく、ほんの思いつきや「遊び型」とも言える少年非行が増えていることです。

警察では非行少年をできるだけ早く発見し、非行の芽を早いうちにつみとるための補導活動を強化しています。しかし、大切なことは、家庭や学校、職場、地域社会がお互いに手を取り合って、地域ぐるみで少年を非行から守る努力が必要だと思えます。

家庭での注意事項

少年非行に走りやすい夏休み。家庭では、はじめのある、夜遊びはさせない、だんらんの機会をつくるようにし、しつけ、教育に重点をおきましょう。



会、子ども育成会などから関係者百二十人が参加し、「青少年育成大会」を開きました。

このなかで、最近の市内での非行や不良行為などの実態が報告され、この青少年育成の日を機会に今後は家庭、学校、社会が一体となり、青少年の健全育成に努力することを決めました。

さあ、いよいよ高校総体

競技は八月二日から七日まで

「南国に競え若人、はぐくめ友情」のスローガンのもと、高校生のスポーツの祭典、昭和五十七年度全国高等学校総合体育大会がいよいよ幕を開け、八月一日から十日まで県下二十三の会場で、二十五種目に熱戦が展開されます。阿久根市では、八月二日から七日までの六日間市民体育館を中心に競技が行われます。

高校生にスポーツを通して技能の向上と、スポーツ精神の高揚をはかり、心身ともに健全な高校生の育成をめざす。この主旨にのっとり、毎年開催される高校総体、今年も鹿児島県が会場になります。太陽国体開催からちょうど十年の節目の年という意義のある大会で、また、全競技をすべて鹿児島で消化するというのも、これまでの大会で初めてのケースとして注目されます。

阿久根市では、すでにご存じのようにボクシング競技が実施されます。阿久根市民体育館をメイン会場とし、八月二日の開会式で幕をあけ、七月までの六日間行われることになっています。

すでに、大会へ向けては準備もほぼ終り、あとは本番を待つだけ、六月十九日、二十日には本番のり

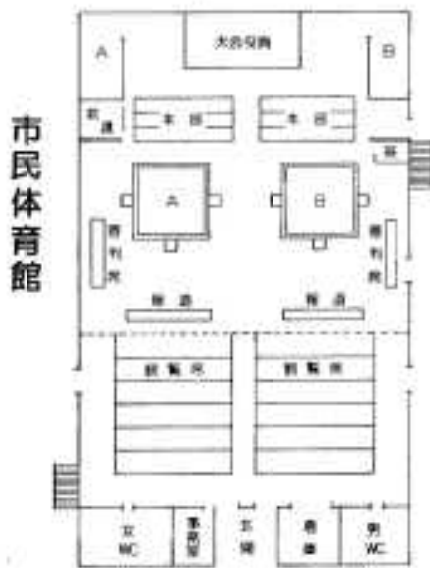
ハーサルをかねた九州高等学校ボクシング大会も行われ、各会場ともにスムーズな運営もでき、事務局ではホット胸をなで、本番大会成功へと決意を新たにしているところだ。

あと数日に迫った高校総体、全国から多くの若者が阿久根市を訪れ、競技に青春をぶつけます。

私たちは、この総体が阿久根市を全国に知ってもらう絶好の機会であると務めます。それにはやはり、この大会を成功させ、若者に阿久根の良い印象を与えることが必要だと思えます。

市民の皆さんも大会期間中は会場においていただき、一生懸命頑張る全国の若者に、温かい応援を送り、市民一丸となってこの総体を成功させましょう。

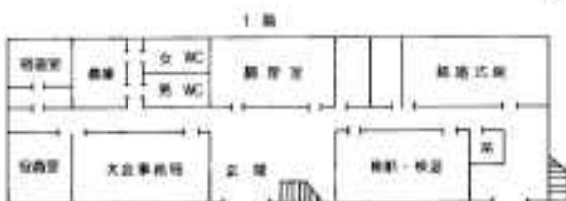
高校総体ボクシング会場配置図



市民会館大ホール (Municipal Center Grand Hall) floor plan



市民会館 (Municipal Center) floor plan



ボクシング競技日程

項目 月日	校 計 量	競技開 始時刻	備 考
8月2日(開)	8:30		16:00開会式
8月3日(休)	8:30	10:00	
8月4日(休)	8:30	10:00	
8月5日(休)	8:30	10:00	
8月6日(休)	8:30	10:00	準々決勝・準決勝
8月7日(休)	8:30	10:00	決勝開会式13:00

◇開会式……市民会館大ホール
二日 16時

◇競技会場……市民体育館
二日から七日まで

◇開会式……市民会館大ホール
七日 13時(予定)

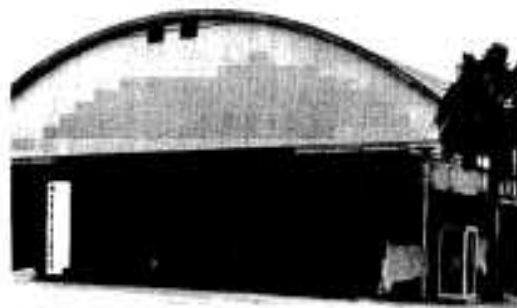
練習会場は
働く婦人の家
トレーニング室



ホールは
開閉会式場と
選手控です



市民体育館は
競技会場
です



市民みんなので応援し、全国の若人を温かく迎えましょう

リハーサルを兼ね
全九州高校ボクシング大会

全国高等学校総合体育大会の
リハーサルをかねた、全九州高校ボ
クシング大会が六月十九・二十日
の二日間阿久根市で行われました。
市民体育館を中心に行われた大



決勝戦で健闘する 東隆二君
(阿久根高校 左)

根高校の東隆二君が出場、二回戦、
準決勝とポイント勝ちで進みまし
たが、決勝では惜しくもRSC敗
けて優勝を逸しました。
また、総体事務局ではこの大会
を本番へ向けての最後のリハーサ
ル大会として本番そのままの運営
を行いました。

大会では、高校生の補助員二百
八十二人、競技役員百七十人も協
力。開会式、検診、計量、アナウ
ンス、計時などにテキパキと当た
っていました。
事務局では「素晴らしい運営ができた」と評価し、この大会の反省も
ふくめ本番大会へは万全の体制で
臨み、成功させることにしていま
す。

六例に腕をふるう
総体料理講習会

高校総体の料理講習会が六月三
日、働く婦人の家の料理実習室で



行われ、市内の旅館組合と飲食店
組合から二十五人が出席し、標準
献立表にしたがい六例に腕をふる
いました。

阿久根市はボクシング会場で、
大会には全国から約六百五十人の
選手、監督、役員が宿泊します。
この食事を一手に引き受けるのが
旅館、飲食店組合で、おいしく、
カロリーの高い食事を、とこの日
講習会を開いたものです。
四つの班に分かれて果が示した
標準献立表の中から朝食、昼食、
夕食、それぞれ二例を料理しまし
た。出来上がった料理は川辺収入
役らが試食「なかなかうまい。」
と大鼓判をおしていました。(写
真は料理講習会風景)

阿久根をPR

鹿児島、人吉、熊本に宣伝隊

夏は阿久根へどうぞ。と、六月八日から十日まで夏季観光宣伝隊が鹿児島市や人吉、熊本を回り、阿久根をPRしました。

今年の宣伝隊には市、観光協会、飲食店組合、青年会議所から二十



熊本の下通り商店街でハンヤ節を披露 阿久根をPR

六人が参加。八日の鹿児島市からスタート、天文館でチラシの配布やハンヤ節の踊りを披露。二日目は人吉から熊本へと回り、市役所、観光協会などを訪ね阿久根を売りこんで来ました。

…… アユ解禁 ……

高松川



市の中心を流れる高松川で六月十日、アユの解禁が行われました。

今年は何年になく量が大きく形も大きいとのことで釣り人の期待を集めています。

ヘリコプターによる空中防除

大島、桑島などの松に散布



薬剤をヘリコプターに積み込む作業員

六月一日と十四日、ヘリコプターによる松くい虫の空中防除が行われました。

五月から六月にかけては、松枯れの大きな原因の一つといわれるマダラカミキリ虫の成長期で、これを防除し、松を守ろうと毎年市が実施しているものです。

今年も阿久根大島、小島元島の三十日に薬剤が散布されました。



医生

おめでどう



出生児	保護者 区名
浜田 綾子	育男(新町)
牛之浜麻美	輝美(牛之浜)
尻無流真吾	浩(高松)
東 磨子	隆味(段)
尾崎 亮太	信行(上野)
伊田 直子	哲朗(波留)
牧内明日香	忍(牧内)
奥 ひとみ	義人(上野)
小野 慶氏	勝博(大尾)
幸礼 俊一	康範(高之口)
竹下 良太	堅(中村)
中野 国之	進(高之口)
宇都弥裕士	信一郎(大丸)
牧尾 行記	英憲(鶴之惠)
東 幸政	浩一(永田上)
上野 敏昭	敏則(高之口)
児玉 里美	利信(上桑原)
前田 樹理	至(山馬場)

阿久根市の人口

住民基本台帳人口と世帯数
(7月1日現在)

人口	29,952 (-4)
世帯数	9,612 (+9)
男	13,961 (-6)
女	15,991 (+2)

高齢者の生活のありかた ③

老後の人生計画を

〔大欄に伸びた平均寿命〕
「古稀」とは七十歳のことで、この言葉は中国の詩人杜甫（とほ）の句「人生七十古来稀（まれ）なり」からきています。

ところが、戦後、私たちの平均寿命は大幅に伸びて、いまでは、人生七十年はごく普通のことになりました。男性七十三歳、女性七十八歳、これが、日本人の平均寿命です。

〔長くなった老後〕

孔子の言葉に「三十にして立つ」「四十にして惑わず」「……」というのがありますが、人間の生涯にはいくつかの節（ふし）があり、生活のあり方もその節ごとに違ってくる。

人生をどのような節に区分するかについては、いろいろ考え方がありますが、例えば、生れてから社会人になるまでを第一期、職業をもち、家庭を築いて子供を一人前に育てる時期を第二期とすると、老後の生活は第三期と言えます。ヨーロッパで

は、高齢期のことを「第三の人生」と呼んだりするのもこうした考え方からきているのでしよう。

ところで、このような人生の節をライフサイクル（生活周期）といっています。

〔若いうちから生きがいを〕

高齢期には、ともすると自らの役割を見失って、無為に過ごしたり孤独に陥ったりしがちです。かと言って、いざ老後を迎えてから、充実した過ごし方を考えるというのも難しいでしょう。そのため、若いうちから、老後を考えた生活設計、ライフサイクルに基づいた人生の計画を立てることが大切です。具体的には、例えば趣味でも社会活動でも、生涯を通して打ち込める生きがいをもつようにすることが必要でしょう。同時に、老後に備えての資産づくりや健康づくりを始めると、
「第三の人生」に対する具体的なプログラムを考え、実践していくことが大事です。

ボリニウムは小さく

「カラオケ条例」本市も適用

このたび県の公害防止条例の一部改正により、新たに飲食店、喫茶店営業について騒音の規制基準が定められました。いわゆる「カラ

オケ条例」で六月二十二日から規制が始まりました。規制は午後十時から翌日の午前六時まで、区域は第一種区域（純

住宅地）で四十メートル以下、第二種区域（二種に準じる地区）四十五メートル以下、第三種区域（住宅と商業混在地）で五十メートル以下、第四種区域（工場地域）で五十五メートル以下となり、これまでよりグリーンとボリニウムを小さくした「カラオケ」となります。

この条例について詳しくは市の保健衛生課へおたずねください。

横断歩道の渡り方勉強

阿小の新一年生

信号機の見方と正しい横断のしかたを勉強しよう。と、六月十一日、国道三号の翠平交差点で阿久根小学校一年生百八十三人による交通教室が行なわれ、子どもたちは警察官のおじさんや、交通監視員のおねえさんの指導をよく聞きながら一生懸命渡り方の勉強をしていました。



横断歩道の渡り方を勉強する一年生

旧市役所跡地を公売します

- 公売する面積 14区画で合計 1,437.73㎡ (約435坪)
- 公売する日時 入札日時 7月30日(金) 14時から
説明会 7月30日(金) 10時から
受付 7月30日(金) 12時30分～13時30分まで
いずれも市役所大会議室で
- 参加資格 市内居住者（阿久根市に本籍のある者を含む）で満20才以上の個人又は団体であること。

また、次のような条件があります。

1. 自ら商業用地（指定用途）に利用するもの。
2. 2年以内に指定用途に供する。
3. 5年間は譲渡できない。

入札参加者は、入札保証金として入札価格の100分の5以上を入札日に現金で前納すること。

詳しくは市役所財政課にお問い合わせください。



はだしで扁平足追放

脇本小学校で実施

健康づくりと扁平足をなおすには、はだしが一番、と市内脇本小学校（今村吉秀校長）で全校児童はだしの運動が始まり、登下校を除き学校でははだしで過している。

同校では今年の一年生の扁平足の調査をしたところ約四十％が扁平足であることがわかりました。扁平足は疲れたり長く歩けない

等の欠点があります。そこで扁平足を治すにははだしが一番と、この六月から実施しています。子供たちは、朝学校に着くとくつを脱ぎはだしで通し、トイレだけはぞうりを使用しています。



はだしで遊ぶ子供たち

短歌

春昼を黙深ふかと燈台が立ちあみて
都井をめぐるわだはら

松永 政志

雨はれて佐多の岬の海はるか種子
ヶ島見ゆ藍色深く

森田伊佐子

帰り来て豊の匂ひなつかしき四泊
五日の旅にしあれど

橋崎 サチ

わが走る車窓暮れゆき日本海の長
き夕映いよいよ深む

河南 節子

阿久根短歌会

現はるる影おもむろに杉森となり
つつ霧濃き街道走る

松永 光志

折田 憲司進

音楽の都ウイーンから訪れる少年モーツァルトたち

ウイーン・モーツァルト少年合唱団
○期日 七月二十六日(月)
○場所 阿久根市民会館
○開演 午後六時三十分
○入場料 (全自由席)
一般一五〇〇円、高校生以下七〇〇円、親子(親一人、子一人)一九〇〇円、当日各二〇〇円高くなります。
前売券は社会教育課、市文化協会加盟団体、市中央公民館で発売しています。



小学生以下(小学生にならないもの)は父兄同判であっても入場できません。

阿久根の民話 ⑥



「涙川」

明治二十年代のある年の梅雨時、甌島の東海上で珊瑚採りをしていた南薩地区の加世田の船が、急に発達した低気圧に巻きこまれて遭難し、四十三人も乗組員全員が死亡するという惨事がありました。

その遺体の大部分は南西の風波で数日間かかって、西目高之口の西海岸にある「貝が浜」に打ち上げられました。

浜辺一番は腐敗した死体の臭気が漂い、駆けつけた遺族らが取りすがって泣きくずれる一方では、死体がだびに付されるなど目を覆うばかりの惨状でした。

信心深い高之口の村人たちもこの加世田船の悲しみをわが事のように悲しみ、田植えや甘藷植えを休んで、浜辺や海中の死体の捜索などに協力しました。

ところが、この悲惨な出来事が起きてから、貝が浜にある小川に変化が現われ始めました。

かねては、砂浜の中の小さな流れで、水の流れがあるか判らないほどのものが、梅雨時になると断続的に流れ、その変化は奇妙なものといわれます。

梅雨時に増水することは当然としても、それは連続して流れるのではなく、増水と減水を繰り返す、どっと一時に水量が増すかと思うと、次第に水量が減って流れが小さくなるのです。それは、あたかも人が過去の悲しい思い出にむせび、涙を流すのに似ているところから「涙川」と名づけられたといわれています。

遭難した加世田船の乗組員たちの悲しみが今もこの地に残っているのか、それとも余りにも痛ましい出来事を見たこの自然の小川が毎年梅雨時になると思い出すのか、今も奇怪な現象の流れであると古老たちは語りまします。



わたしたちの学校 最終回

山下小学校

学級数	6
児童数	89人
校長	羽生和章



昨年できたプールで
元気に泳ぐ子どもたち

明るく自分から考え 進んで勉強する子に

百五年の長い歴史と伝統を持つ山下小学校。ぼくたちの学校は、阿久根市が地から東の方に約二、五キロメートル入りこんだ静かな

校歌

一、四季おりおりの 色染る
上床 あたこの 懐ころに
大地は開けて すそをひく
遠見が端 望みて
銀杏がひえる 我等が母校

学校のあゆみ

- | | | |
|------|--------|----------------------|
| 明治9 | 4. 9 | 山下小学校創立 |
| # 13 | | 山下小学校と命名 |
| # 37 | 1. 一 | 尾崎分教場設置 |
| 昭和16 | 4. 1 | 山下国民学校と改称 |
| # 21 | 4. 1 | 高等科設置 |
| # 22 | 5. 1 | 山下小学校と改称 高等科廃止 |
| | | 尾崎分校独立 |
| # 24 | 6. 1 | 学校給食実施 |
| # 26 | 2. 26 | 校歌制定 |
| # 32 | 3. 3 | 創立八十周年記念式典挙行 |
| # 37 | 3. 2 | 新校舎落成 |
| # 37 | 9. 24 | 給食調理室新築落成 |
| # 46 | 2. 11 | 市上水道に切替 |
| # 48 | 10. 1 | 学校緑化コンクール入賞 (芝生) |
| # 49 | 11. 10 | 南日本花壇コンクール入選 |
| # 50 | 2. 12 | 学校緑化コンクール入選 (単教委) |
| # 52 | 3. 6 | 百周年記念式典挙行 |
| # 53 | 3. 31 | 屋内体育館竣工 |
| # 55 | 3. 31 | 校長住宅落成 |
| # 56 | 8. 31 | プール竣工 (アルミ製25m 5コース) |

高台にあります。校舎は古いですが、運動場のしげふやきよ年々きたアルミ製のプールがとてもきれいです。ぼくたち八十九名(男子四十九、女子四十)は、明るくたくましい子ども、自分から考える子ども、仲よくする子どもを目ざして、がんばっています。

一年じゅう続ける始業前の全校かけ足。週に三回の仲よし体育。みんな暑さに負けないで、体力づくりコースやボール運動で体をき

たえています。児童会活動も活発で、仲よし集会や委員会活動なども六年生の役員が中心になって主体的に活動しています。また、ゆとりの時間に茶つきやしいたけ栽培などの体験学習もしています。

老人の方々やお母さんたちといっしょに勉強する『老人とのふれ合いの会』や楽しい『親子読書の会』も盛んに行われています。ぼくたちは、「今の子どもたちはぜいたくだ。」とよく言われますが、わがしの話を教えてもらったり読書したりしながら、体をきたえ、勉強も進んでする山下のよい子になりたい、と思っています。

児童会長 六年 畠中誠志

社協だより

次のかたがたから、市社会福祉協議会に寄付がありました。

ありがとうございます。(敬称略)

赤崎豊(下桑原城) 久保春子(大尾) 浜崎ノリ(高之口) 宇都俊一(湯) 松永義廣(牛之浜) 田口耕三(高松) 梶尾昭八(黒之浜) 永井エミ(大丸) 松水幾造(牛之浜) 白浜隆(高松) 赤崎ケサノ(高之口) 花田幸人(中屋敷)

(働く婦人の家よりお知らせ)

働く婦人の家の図書室に、市民の方から献本がありました。ありがとうございます。

市内大川の松永郁代さん
赤瀬川の柿田広美さん

また、市立図書館、県立図書館の巡回文庫の協力もいただき児童向け、婦人向けの書籍約一千百冊等が揃いました。

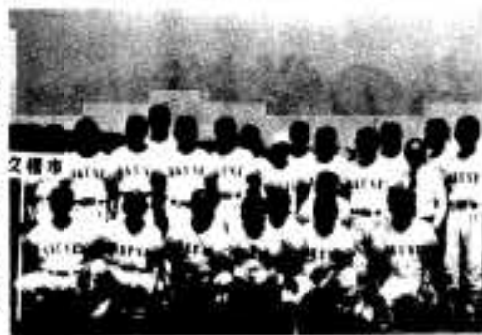
市民の皆さん、働く婦人の家へご来館のさいは、ぜひご利用ください。

固定資産税第2期の納期限は7月31日までです。納期内納人に御協力ください。



議員さん ソフトボールに汗

ソフトボールで親睦をはかろうと、串木野、川内、大口、出水、阿久根市五市による市議会議員のソフトボール大会が六月四日、阿



そろいのユニホーム姿の 市会議員さん

久根市の総合グラウンドで行われました。

大会にはユニフォーム姿もりりしい議員さん百二十人が参加。開会式のとさつそくりングトーナメントで試合開始。日頃何かと忙がしい議員さんたちもこの日はソ

市民のひろば

すこやか



下藤大樹ちゃん 1歳5ヵ月
市内大川の邊 下藤博光さんの長男

ゴミの量にびっくり

大川国道三号で清掃

大川校区婦人会

大川地区婦人会(坂上タツ子会長)では、六月六日地区を通る国道三号縁沿いの空き缶や草払いの清掃を行い、美化運動に協力しました。



この奉仕作業は、「美しい海岸線をもつこの一帯が最近車から投げすてられる空き缶や紙くずで汚れ、また草もおおい茂り、せつかくの景観もだいなし、高校緑体を前に、みんなできれいにしよう。」と草刈りや空き缶拾いに奉仕する婦人会員

と、この日の奉仕作業になったもので、会員二百六十人と老人クラブ、一般の方も協力しました。朝七時三十分、ビニール袋やカマを持って集まった参加者は、長迫入

「お仕事ごくろうさま」 花と手紙をプレゼント めぐみ幼稚園の園児



市長に手紙と花をプレゼントする園児たち

めぐみ幼稚園の園児が市役所に川畑市長を訪ね花と手紙をプレゼントしました。

この日、市役所を訪ねたのは、

来年少学校に入学する年長組四十六人。玄関で川畑市長の出迎えを受け、まず全員で「毎日のお仕事ご苦労さまです。元気で頑張ってください。」とあいさつ。一人ひとりと花と自分たちで書いた手紙を市長に手渡しました。川畑市長も「道路を歩くときは、車に注意しましょうね。」とやさしくお礼を

口から鈴木段までの区間で空き缶を拾ったり、草を刈ったり清掃に汗を流し、作業が終るころは三号線一帯は見違えるほどきれいになりました。

阿久根大島船便

阿久根行		大島行	
※ 7:40	13:30	※ 7:30	13:20
8:40	14:10	8:30	14:00
9:40	15:10	9:30	15:00
10:40	16:10	10:30	16:00
11:10	17:10	11:00	17:00
11:50	18:10	11:40	18:00
12:40	※19:40	12:30	※19:30

※は7/21~8/21の間運航

述べました。園児たちは、市長と握手してお別れしました。

フトボールにハッスル、打ったり走ったりさわやかに汗を流していました。

なお成績は優勝串木野、二位出水、三位川内、大口、阿久根でした。

高松川を

クリーン作戦

青年会議所

夏の観光シーズンを前に、高松川をきれいにしようと、六月十三日青年会議所会員らが、高松川の清掃を行いました。

清掃には会員四十七人と阿久根警察署警備隊、高松川内水面漁協も協力、大曲橋から港橋までの約一・の区間で、川の中に入りながら空カン、鉄くず、ゴミなど拾い集めていました。



川をきれいにする会員たち

鈴木アナ

「スポーツを」

大いに語る

NHKスポーツアナウンサーの鈴木文弥氏による文化講演会が六月十一日、阿久根市漁協ホールで行われ、市民三百人が会場につめかけました。

青年会議所と商工会議所が主催したもので、鈴木さんは、「指導者の役割とスポーツ」と題し、これまでのスポーツ実況の体験、有名選手、監督との対談、オリンピック

消防ミニニュース

()は一月〜六月

6月の火災発生件数 ↓ (11)

救急車出動回数 43 (302)



なれぬ手で カライモ植え

なれぬ手でカライモづくり

折多小、ゆとりの時間を利用

六月十八日、折多小学校全校児童によるカライモづくりが行われ、

子どもたちはなれない手付きながらも、イモ植えを楽しみました。

ゆとりの時間を利用して、自然に親しみ、作物づくりを実際に体験させようとしているもので、今年で三年目。学校近くにある広さ七丁の学習農園に全校児童が集まり、まず、先生から植え方を習ったあと、一斉に植えました。ほとんどが初めてで、「どうして植えるの」と、農園は子どもたちの歓声で大にぎわい、秋の収穫を楽しみに一本一本植えています。

阿久根の昔話は12頁に掲載してあります

ックやアジア大会などにおける日本選手の行動を中心に講演され、



とくに「日本の選手はもっと外国選手の中にとけ込み、外国の生活様式など学ぶ必要がある」「指導者はやる気を起こさせる指導が大

さあすがー 剣道のまち

市役所連続優勝

県下市役所対抗剣道

六月十九・二十日、枕崎市で開かれた、県下市役所対抗剣道大会で本市役所剣道部はみごと連続優勝しました。

今年で十七回目を数えるこの大会で、本市は今大会までに五回優勝を飾っており、本市剣道のレベルの高さが立証されました。

コスモス

二千本植える

大川老人クラブ連合会は、このほど国民宿舎開辺を花で彩ろうとコスモス二千本を植えました。



行事催し物など
とこととお寄せ下さい

お知らせ



原子力発電所への研修視察を実施
しています。

阿久根市の観光 写真
コンテストの作品を募集

市制三十周年記念事業の一つとして阿久根市の風景、行事、鹿などの観光、写真作品を次の要領で募集します。

▽主催 阿久根市

▽応募規定 風景、史跡、民芸、行事、文具、鹿など阿久根に関係

あるものでしたら何でも結構です。

▽サイズ

カラープリント四切以上

カラースライド35判以上

▽作品の提出先

市役所商工観光課まで

▽締切り、十月十五日

▽発表 十月末日(入賞者には連絡します。)

なお、応募方法などについて詳しくは市の商工観光課へおたずねください。

原子力発電所研修視察の
申し込みを付けています

原子力発電施設等、原子力発電をよく知ってもらうため、市では

八月二十三日から九月十日まで
試験については、県庁上
本部建築課、又は、市の都市計画
課建築係 ☎1211内142へ
お問い合わせください。

市営住宅の入居者募集

8月1日から

31日まで受付

視察を希望される方は市役所企画課 ☎1211内線231へお申し込みください。

宅地建物取引主任者
資格試験の案内

○試験日 十月十七日(日)

○試験場

第一会場 鹿児島市城西中学校

第二会場 鹿児島県立短期大学

○受験受付

《MBCラジオ公開録音》

夏祭り各種団体対抗
歌合戦出場チーム受付中

夏祭りに華を添える阿久根市青年団連絡協議会主催の、夏祭り前夜祭が今年も盛大に催されます。

今年はとくにMBCラジオの各種団体対抗歌合戦の公開録音も行われます。

いま、市青協ではこの歌合戦に出場するチームを次の要領で募っています。

○期日 八月二日(日)

市では現在ある市営住宅で、これから空家になる住宅について次のとおり募集します。

○募集期間 八月一日から三十一日まで

申し込み手続きについては、市役所都市計画課建築係にそなえ付けの申し込み書に記入のうえ申し込んでください。

詳しくは、同係 ☎1211内142へおたずねください。

○場所 市中央公園

○時間 午後八時から

○出場資格

どんな組合わせでも結構、一チーム五人で編成すること。

○申し込み先

チーム名、出場者氏名、歌う曲目を添えて、7月24日まで阿久根市役所建設課内松田まで(☎

☎1211内121)

NHK第1ラジオで全国生放送

阿久根市民ラジオ体操のつどい



- 期 日 8月27日(土) 午前5時50分集合
- 日 程 6時~開会式 6時30分~40分 生放送
6時40分~7時 レクリエーション閉会
- 場 所 阿久根市総合グラウンド
(雨天の場合 勤労者体育センター)



新しい朝がきた、希望の朝だ……の歌声とともに始まるNHKラジオ体操夏期巡回が阿久根市にやってきます。健康で明るい阿久根市を全国に紹介します。

市民の皆さん、隣近所おさそいあわせの上ぜひご参加ください。

昭和五十七年七月十日 鹿児島県阿久根市役所編集発行